

市場調査レポート ～ 新・展望シリーズ

'12 コンデンサ業界の実態と将来展望

— 環境・新エネルギー向けに拡大するコンデンサ —

株式会社 日本エコノミックセンター

JAPAN ECONOMIC CENTER CO.,LTD (JEC)

はじめに

コンデンサは、環境、省エネなどをキーワードに新たな成長を始めている。09年に入って月を追って尻上がりに需要が増大。10年はLEDテレビ、スマートフォンなど新製品の生産が増加し、自動車もエコカーを中心に販売台数が増えている。

コンデンサ各メーカーでは、既存の顧客対応に加えて太陽光発電、LED照明、エコカーなど、環境・新エネルギー関連を対象にした新たな事業への取り組みによって業績を伸ばそうとの動きが表面化している。

2010年度のコンデンサ世界市場は、数量ベースで1兆8,292億個（前年度比10.6%増）、金額ベースで1兆6,646億円（同比8.2%増）と予測した。

そのなかで小型、大容量を特徴としているアルミ電解コンデンサは、小型品と大型品との2極化が進んでいる。小型品はチップタイプでの品揃えが充実、大型品はエコカー、太陽光発電のパワーコンディショナー、LED表示機器用電源、各種インバータ向けをはじめとする省エネ、環境に絡んだ各種電源向けの高信頼性製品が開発されており、中高圧タイプの新製品開発が活発化している。

弊社は創業45年のマーケティング調査会社で当資料は専門スタッフによって編纂されています。関連資料として「EMC・ノイズ対策業界の将来展望」「蓄電デバイス市場の実態と将来展望」等の調査レポートを刊行しております。商品タイプとして印刷版の他、CDタイプ（PDF）などを用意しています。

御社の事業戦略の立案及び展開される際に、本レポートがご活用頂ければ幸いです。

2010年10月

(株)日本エコノミックセンター 市場調査部

第 I 章 コンデンサ市場の動向と展望

1. コンデンサ国内市場の現状と展望

(1) コンデンサ国内市場規模と動向

弊社における国内主要メーカー23社の実態調査結果で、2007年度のグローバル販売数量（国内販売＋輸出＋海外拠点）は、839億6,000万個（前年比8.1%増）、同販売金額は1兆361億9,200万円（前期比107.0%）となった。各メーカー別の販売取扱いなどもカウントされている。2008年度は、同販売数量は7,162億6,000万個（前期比103.2%）、同販売金額は1兆572億3,000万円（前期比102.0%）をそれぞれ見込んでいる。

コンデンサの需要は拡大している。薄型テレビ、DVD、デジタルカメラ、ゲーム機、携帯音楽プレーヤーなどのデジタル家電、携帯電話、パソコンといった情報通信分野などの成長分野の生産台数が増加している。

コンデンサのグローバル出荷金額（国内販売＋輸出＋海外拠点）は、07年度は前年比6%増の9,517億円となった。月別に見ると07年4月～12月は前年比で増加しているが、08年1月～3月は前年比割れを起こしている（JEITAによる）。

これは原材料の高騰に加えて、サブプライムローン問題に端を発した米国の減速や金融不安の影響を受けている。4月～7月も同様に前年割れが続いており、同前期比で9%減の91%と低調が続いている。

国内生産額は06年以降順調な伸びを示している。05年後半から携帯電話及びパソコン関連、薄型テレビなどのデジタル家電、また自動車の電子化進展などがコンデンサの需要を押し上げている。

07年におけるコンデンサの生産実績は数量が前年比で16.4%増の7,053億6千万個、金額が同12.4%増の6,438億6千万円である（経済産業省生産統計による）。

内訳を見ると、アルミ電解コンデンサは同4.9%減の202億5,600万個、同2.4%増の1,912億9,200万円。タンタルコンデンサは同13.2%減の46億9,900万個、同3.9%減の452億5千万円であった。

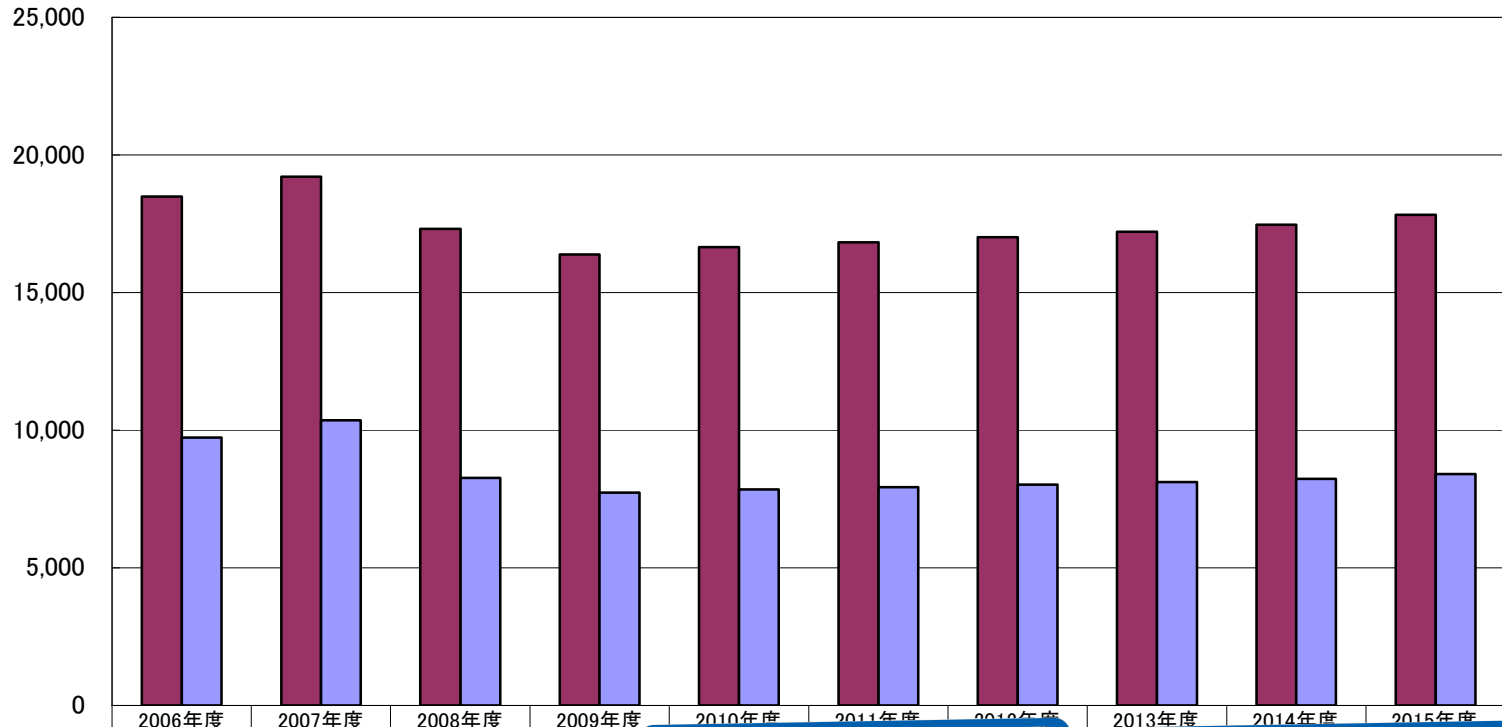
セラミックコンデンサが同17.5%増の6,788億4千万個、同19.2%増の3,738億5,500万円。有機フィルムコンデンサが同11.8%減の15億2,500万個、同9.6%減の70億8,700万円。金属化有機フィルムコンデンサが同8.7%減の8億7,500万個、同4.8%増の215億3,400万円となっている。

薄型テレビ、携帯電話、自動車など新製品に対する小型、高性能な付加価値の高いコンデンサの需要が増加。これらセットの生産台数増加に加え、搭載点数の増加が需要の伸びをさらに押し上げている。

海外では、市場が国際的に分散していることに対応して、各社が海外生産体制を強化している。特にユーザーの設計、開発は日欧米が主体ながらも、生産を中国、ASEAN地域で行い世界に供給するという体制整備の動きに連動して、コンデンサメーカーは現地生産を強化、拡充する傾向が強まっている。

2-1 コンデンサ世界市場規模予測 弊社予測による

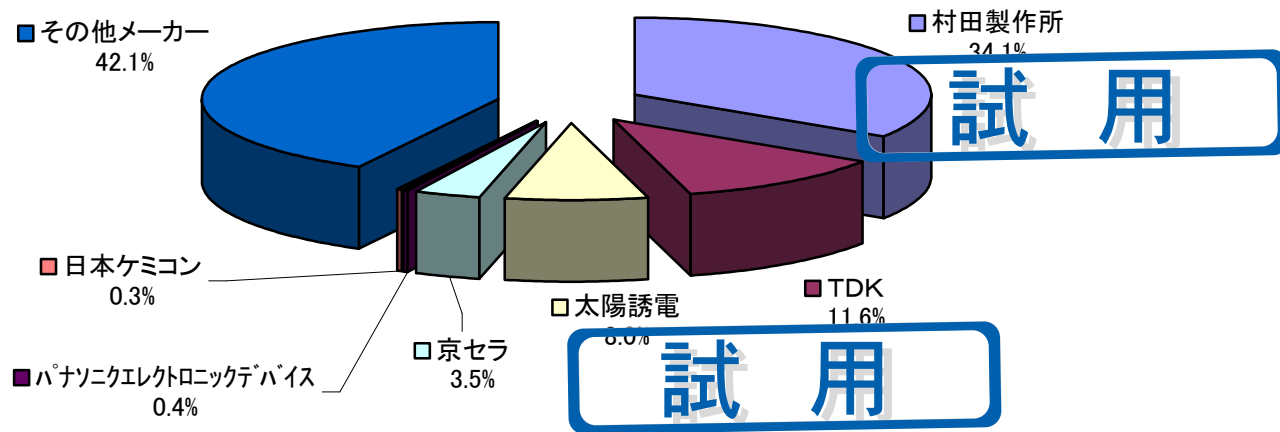
■ 世界市場(億円) ■ 国内市場(億円)



■ 世界市場(億円)	18,483	19,213	17,309	16,377	16,637	16,827	17,008	17,204	17,465	17,820
■ 国内市場(億円)	9,731	10,361	8,259	7,726	7,837	7,927	8,023	8,115	8,234	8,400

試用 試用

2-2-2 積層セラミックコンデンサ世界シェア(金額ベース) 2008年度 弊社推定を含む



日本ケミコン 株式会社

本 社	〒141-8605 東京都品川区大崎 5-6-4 都五反田ビル東館 Tel:03-5436-7711 Fax:03-5436-7631
会社概要	設立:1947年8月 資本金:157億5,100万円 決算:2月 従業員:7,000名/連
生産拠点 《国内》	ケミコン岩手(株):〒024-0073 岩手県北上市釣子14丁目1番1号 (大型チップ、リード型アルミ電解コンデンサ) Tel:0197-77-2231 Fax:0197-77-2210
	ケミコン宮城(株):〒989-4308 宮城県遠田郡田尻町沼部字加良屋敷100-1 (チップ型、小型アルミ電解コンデンサ) Tel:0229-39-1251 Fax:0229-39-1138
	ケミコン福島(株):〒969-0235 福島県白河郡矢吹町丸の内185-1 (ネジ端子型、基板自立型アルミ電解コンデンサ) Tel:0248-42-4101 Fax:0248-44-2041
	新潟工場:〒957-0101 新潟県北蒲原郡聖籠町東港6-5525-21 Tel:025-256-1251 / Fax:025-256-1250 高萩工場:〒318-8505 茨城県高萩市安良川字下ノ内363 Tel:0293-23-2511 / Fax:0293-24-1034 (国内関連会社) 山形エレクトロニクス(株)、日高エレクトロン(株)、マルコン電子(株)、岩手電気工業(株)、岩手エレクトロニクス(株)、日栄電子(株)、福島電気工業(株)、ケミコン精機(株)、KDK販売(株)、マルコンデンソー(株)
《海外》	中 国 :台湾佳美工股イ分有限公司 (高温長寿命型) 貴弥功(無錫)有限公司 (大型品(ブロック型)電解コンデンサ) 東莞佳箔製有限公司 (アルミ電極箔) 韓国:三瑩電子工業(城南市)株式会社 (小型アルミ電解コンデンサ) インドネシア:P. T. INDONESIA CHEMI-CON (小型アルミ電解コンデンサ) マレーシア:CHEMI-CON (MALAYSIA) SDN. BHD. (大型品コンデンサ) 米国:CHEMI-CON METERIALS Corp (ワシントン州) (アルミ電極箔) UNITED CHEMI-CON, Inc. (イリノイ州) (大型品コンデンサ)
取引先	日立製作所、ソニー、シャープ、パイオニア他 (販売先) 昭光通商、東京産業洋紙、宇津商事、その他 (仕入先)

《販売数量・金額》

	販 売 実 績			
	数量 (百万個)	対前年比 (%)	金額 (百万円)	対前年比 (%)
2006年度	14,950	112.6	109,700	118.2
2007年度	16,070	107.5	117,315	106.9
2008年度(見込)	17,100	106.4	124,000	105.7
2009年度(予想)				
2010年度(予想)				
2011年度(予想)				

弊社推定を含む

’ 12 コンデンサ業界の実態と将来展望

発行: 2011年10月3日 第一版
定価: 69,500円 (本体価格 66,190円 消費税 3,310円)
発行人: 石澤 宜之
編集: 株式会社 日本エコノミックセンター 市場調査部
印刷: 株式会社 メディオ
発行所: 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-11-5 3F
株式会社 日本エコノミックセンター
JAPAN ECONOMIC CENTER CO., LTD
TEL 03-3808-0611(代)
FAX 03-3808-0617
URL: <http://www.j-economic.co.jp>
E-mail: info@j-economic.co.jp

- 《禁無断コピー・転載》万一、落丁の場合はお取り替え致します。

Copyright (C) 2011 JEC Co., LTD

石澤 宜之 2011 Printed in Japan